

「フィジー青少年交流プログラム」参加者募集要項

佐賀県は、2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいて、フィジーのホストタウンとして日本政府から登録されており、今後フィジーと様々な分野で交流を展開することとしている。

このたび、その一環として県内の青少年をフィジーへ派遣することとし、本要領のとおり参加者を募集するので、参加を希望する者は本要領に従い各自で申込みをすること。

1 目的

フィジーの学生やホストファミリーとの交流、歴史的・文化的施設の見学、環境保護プログラムへの参加を通してフィジーへの理解を深め、東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプにおいてフィジー選手団を受け入れる際のサポーターとして活躍でき、今後のフィジーとの交流促進を担うグローバル人材を育成する。

2 プログラム概要

(1) 派遣日程 平成29年8月6日(日)～11日(金) [4泊6日]

※派遣前に事前説明会、事前研修会、派遣後に事後研修会、報告会を予定(8を参照のこと)

(2) 派遣人数 最大10名

(3) 内 容

- ▶ 現地の学校での交流
- ▶ ホームステイ
- ▶ 環境保護プログラムへの参加

(4) 行程(予定)

日時(現地時間)		行程	泊
8/6 (日)	夕方	福岡空港集合、出発 [乗継便利用]	機中
8/7 (月)	午前	フィジー(ナンディ空港)到着 ホストファミリーと対面、各ホームステイ先へ	ホームステイ
8/8 (火)	終日	学校訪問、交流	ホームステイ
8/9 (水)	午前 昼	視察 ホストファミリーとのフェアウェルランチ	ホテル
8/10 (木)	終日	環境保護プログラムに参加	ホテル
8/11 (金)	午前 夜	ナンディ空港出発 [乗継便利用] 福岡空港到着、解散	

※ 行程は現時点での予定であり、内容、時間等が変更になる場合がある。

※ 宿泊ホテルは1室2名、ホームステイは1人1家庭での宿泊を予定。

3 応募資格

以下のすべての条件に該当すること。

- (1) 原則として日本国籍を有し、平成9年8月13日から平成14年4月1日までに出生した者で、佐賀県内に居住している者
- (2) 本事業への参加について勤務先、所属学校長等からの推薦が得られる者
- (3) 国際理解・国際交流に関心を持ち、積極的なコミュニケーション意欲がある者
- (4) 海外の国や地域との相互理解と友好親善に寄与しようとする意欲があり、積極的に佐賀県を海外へアピールする意欲がある者
- (5) 帰国後もその経験を生かしてフィジーとの交流活動やホストタウン関連事業等に積極的に参加し、ホームステイの受入や関連するボランティア活動への参加等が可能な者
- (6) 上記の目的のため、連絡先情報の提供に同意する者
- (7) 心身ともに健康で協調性に富み、プログラムに従って規律ある団体行動ができる者
- (8) 事前説明会、事前研修会、事後研修会及び報告会を含めたすべてのプログラムに参加できる者
- (9) 当事業への参加について、保護者の同意を得ている者

4 参加費

1人5万円程度（派遣中のホテル宿泊費、食費、視察先の入場料金等相当として）。

その他、以下の経費については各自での負担とする。

- ▶ パスポート取得に係る経費
 - ▶ 海外旅行保険料（必須）
 - ▶ フィジー滞在中の以下の経費
 - ・ 個人での飲食、買い物等に係る経費（お小遣い）
 - ・ ホストファミリーとの外出時に必要な経費（交通費、外食費、施設入場料等）
 - ・ 学校体験における昼食に係る経費
 - ▶ 自宅ー福岡空港間の移動に係る経費
 - ▶ 事前説明会、研修会及び事後報告会のための自宅～会場間の移動に係る経費
- ※ 参加費の金額は参加決定者に対して決定通知の際に通知するものとする。
- ※ 参加費の徴収、海外旅行保険の手続きについては、7月17日（月）の事前説明会にて受託旅行会社が行う。
- ※ 参加費徴収後に事業参加を取りやめた場合の参加費の払い戻しについては、旅行契約約款による。

5 旅行代理店

旅行代理店については7月上旬に決定する。

6 応募方法

(1) 提出書類

ア 参加申込書（様式1） ※必ず勤務先、学校長等の推薦印をもらうこと。

イ 保護者同意書（様式2）

ウ 写真1枚（全身が写っているもの）

※写真の裏に勤務先又は学校名及び氏名を記入すること。複数人が写っているものは応募者を目印を付ける等、判別できるようにしておくこと。

エ 作文

以下の3つのテーマについてそれぞれ作文すること。なお、用紙はA4判400字詰原稿用紙を用い、それぞれ1枚目の枠外（右余白）にテーマ、勤務先又は学校名及び氏名を記入すること。

（ア）「プログラムへの参加に当たって」

内容：・プログラムへの参加を希望する理由

- ・2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、これからやってみよう国際交流活動等
- ・フィジーの学生やホストファミリーとの交流の中で是非やってみようこと
- ・その他、プログラムに参加するに当たってアピールしたいこと

字数：800字以上1,200字以内

（イ）「熱中していること」

内容：地域活動、部活動、勉強など、自分が熱中して取り組んでいる、あるいは取り組みたいこと

字数：400字以内

（ウ）「フィジーの人に伝えたい佐賀県の魅力」

内容：自分がフィジーの人にアピールしたい佐賀県の魅力

字数：400字以内

(2) 提出先及び提出方法

応募者は、(1)の書類をそろえて、佐賀県国際課へ郵送又は持参により提出すること。なお、提出書類は返却しない。

[提出先] 佐賀県国際課 〒840-0826 佐賀市白山二丁目1番12号 佐賀商工ビル1階
電話：0952-25-7004

(3) 提出期限

平成29年7月4日（火）必着（持参の最終日受付は17時まで）

7 選考

書類審査のうえ参加者を決定し、応募者全員に対し郵送により結果を通知

※ 結果通知は7月11日（火）までに発送予定。7月13日（木）までに通知が届かない場合は国際課まで問い合わせること。

8 派遣決定後のスケジュール

7月17日（月）13時～ 事前説明会（佐賀商工ビル1階 国際交流プラザ 研修室 B）

14時～ 第1回事前研修会（同上）

7月23日（日）13時～ 第2回事前研修会（佐賀商工ビル1階 国際交流プラザ）

8月6日（日）～11日（金） 派遣

8月中旬（日時未定）事後研修会

8月末（日時未定） 帰国報告会（県庁又は国際交流プラザ）

※ 詳細は参加決定者に対して決定通知の際に通知するものとする。

9 その他

- ・ 応募書類受付後、内容確認のため、保護者、勤務先又は学校に連絡する場合がある。
- ・ 渡航に当たっては残存期間6か月以上のパスポートが必要となるため、所有のパスポートの残存期間が足りない者又はパスポートを持っていない者は、参加決定後に各自で手続きをすること。
- ・ 参加申込書及びそれに付随する書類等に記載された個人情報、参加者の選考、渡航手続のためにのみ使用し、本人及び保護者の承諾なしに第三者へ提供することはない。また、佐賀県国際課内では、必要最小限の職員がこれを取り扱うものとする。
- ・ プログラム期間中に撮影した写真、映像等については、佐賀県が運営するWEBサイトや冊子などにより広報に使用する場合がある。
- ・ その他、応募に当たって不明な点がある場合は、佐賀県国際課へ問い合わせること。

[問合せ先] 佐賀県国際課（担当：野崎）

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1番12号 佐賀商工ビル1階

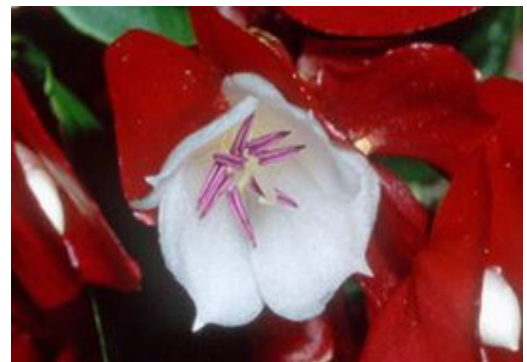
電話：0952-25-7004

メール：nozaki-tomokazu@pref.saga.lg.jp

【参考1】 フィジー概要



- 1 国名 フィジー共和国 (Republic of Fiji)
- 2 面積 18,270 平方キロメートル
(四国とほぼ同じ大きさ)
- 3 人口 約 89.2 万人
- 4 首都 スバ
- 5 民族 フィジー系 (57%)、インド系 (38%)、
その他 (5%)
- 6 言語 英語 (公用語) の他、フィジー語、ヒン
ディー語を使用
- 7 宗教 フィジー系はほぼ 100%キリスト教、イ
ンド系はヒンズー教、イスラム教



【参考2】 ホストタウンとは

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、地方公共団体と大会参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに、地域の活性化等を推進することを目的としている。

佐賀県は、フィジー、オランダ、ニュージーランドのホストタウンに登録されており、東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの誘致を進めるとともに、相手国との人的交流、文化交流を通して、相手国との関係強化、2020年東京オリンピック・パラリンピックにむけた機運醸成を進めている。

